

(様式3)

自己評価結果票

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	アクティブライフの理念にある「地域と共に」を基本として地域の神社の行事や秋祭りに参加したり、年末行事で地域活動の方に協力していただいている。	印 (取り組んで いきたい項目)	地域子育てグループの方の依頼があり 玄関前庭を水遊びの場所として提供した その間寝ている0歳児を事務所内でお預かりして一緒に楽しんだ
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各フロアと玄関にグループホームの運営理念を掲示している。毎月1回行われるミーティングにて意見交換を実施している。	印 (取り組んで いきたい項目)	今年はアクティブライフ20周年を迎えるためさらに受け継いでいきたい
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	御家族の方には、毎月介護状況レター及び年2回の家族会を開催している。おおむね2ヶ月に1回の運営推進会議を実施して伝えている。	印 (取り組んで いきたい項目)	西宮 さくら会に定期的に参加して地域の方のお話を聞かせていただいている
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	玄関前の入り口はオープンになっており、阪急バスの回数券、宅配便の取り扱い、年賀状の販売などを通じて近隣との日常的付き合いに努めている。	印 (取り組んで いきたい項目)	近所のスーパーに買い物に出かけたりするため 近隣の方とは 気軽に挨拶を交わしている
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に参加している、神社の祭りの山車巡行のルートの中に入れていただき地域とのつながりを大切にしている。近隣の小学校との交流を実施している	印 (取り組んで いきたい項目)	地域の民生委員の方との交流を深めている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	年末の餅つき大会を地域の民生委員の方を中心地域のボランティア活動の方に協力依頼している 西宮市キャラバンメイトに登録して地域の方の講演会のお手伝いをしている	印 (取り組んで いきたい項目)	より多くのスタッフがキャラバンメイトに登録して地域に貢献して行きたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各ミーティングや個別の面談にて 評価についての報告と改善について話し合いを実施している		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催してアクティブライフ夙川のサービスについて家族や地域住民に理解を深めたまた、家族の要望や地域の代表者の提案や意見をミーティングなどを利用して報告 意見交換している	印 (取り組んで いきたい項目)	運営推進会議の地域のメンバーを増やして行きたい
9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	西宮市社会福祉協議会に参加 さくら会のお手伝い 講演会に参加している 集い場 さくらちゃんに気軽に訪問するなど 地域とのかかわりを大切にしている		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	成年後継人制度など利用される際の相談及び、個々の御家族の要望に応じて支援している		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止、身体拘束についてリーダー会議 各ミーティングにて学習を行ない 防止の徹底に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事業所の都合による管理者の移動は最小限に抑える努力をしている 交代になる場合も利用者の負担にならないように早めに引継ぎ研修ができるように努めている。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の入社時研修、兵庫県主催の認知症研修キャラバンメイト講習会に参加している 介護福祉士の通信教育、介護支援専門員の通信教育など受講できるように支援している		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	業務別合同会議などで社内間他施設との交流をしている 西宮市グループホーム連絡会 さくら会などに参加して他の施設職員 西宮市の職員との交流意見交換などしている		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	事業所内の懇親会 会社全体の懇親会などの活用および次月勤務表作成時に公休希望の確認や公休日数の確保をしている スタッフ勉強会に心のケアの講師を定期的招いて継続的に取り組んでいる		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	介護保険の改正など県からの情報 市からの情報を提供して 外部の研修会に参加できる機会を提供している 会社内部の研修会に定期的に参加して個人の力量の把握に努めている 会社全体で事例検討の発表会を設けている 人事処遇制度のアンケートを行った		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に家庭訪問して なれ親しんだ環境で、ご本人から話を伺い記録している</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前の見学や家庭訪問などで話を伺う機会を設けて相談を伺うようにしている</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前の見学や訪問時にご本人、家族の相談の内容により デイサービス、ホームヘルプ、ケアマネジャーなどが適切に対応している</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家庭訪問で本人と話す機会を十分に設けるようにしている 見学の実施 入居後しばらくはそれぞれの入居者の状況によりご家族と一緒に過ごしていただく機会を増やしたり ご家族の意見を聞くようにしている</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎朝行う朝の会では 全員で挨拶してお声を掛け合うように心がけている ニュースを紹介して関係のある事柄の昔からのなじみのお話を聞くようにしている ご本人の得意とすることを教えていただいている(お料理や お花の生け方など)</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族の方に毎月の行事に参加していただいたり近所の散歩 買い物、通院などの生活場面に自然に参加していただくように提案している		
29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事やアクティビティを通じて 共にすごして楽しんでいただいたり 介護状況レターや夙川便りで近況を報告している 何か状態に変化が見られたときはすぐに連絡を入れるなど よりよい関係が築けるように支援している		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は制限を決めないで対応している なじみの家具などをお部屋に持ち込んでいただいたり 畳のお部屋に模様替えされる事もあります 嘱託医はいるが希望によりいままでのかかりつけ医を継続したり 往診にもきていただいている		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	リビングおよび ダイニングが共有の場所として 落ち着いて過ごしていただいている また 雑誌など共有して観ている スタッフは利用者間のコミュニケーションがスムーズに行えるようお手伝いしている		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご退去時には アルバムを作成してお渡ししている 病院など入院された場合はお見舞いに行かせていただいている また相談の電話があれば対応させていただきます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1.一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その方の想いに寄り添うことができるように無理のないように支援できるように ミーティングやケアプランの作成時などに話し合い 介護状況記録を通じて情報を共有している</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族 ご本人から常にお話を聞く機会を持ち情報の把握に努めている 入居後のご本人の言葉などを記録に残し情報の共有化に努めている</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎日の日常の記録を残し 申し送りにて伝達している また毎月のミーティングにて利用者の状況について話し合う</p>	
<p>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎朝の申し送りにてご利用者の状況を確認している ケアプラン作成時には日々の状況を各リーダーが集約してプランニングに活用している 面会時にお話を伺ったり 必要に応じて個別の面談を行い家族の方の意向を確認させていただいている</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状況が変わった場合はすぐに家族に電話で連絡を入れて説明させていただいている その後プランの変更を話し合い見直しする 基本的には 毎月のミーティングにて介護計画の確認をして スタッフ全員が思いや意向を把握している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	コンピューターシステムを活用して複数箇所からのパソコンから随時状況を個別に入力し情報を共有化している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の中での連携を十分にとり デイサービスご利用の方にショートステイの情報を伝えたりホームヘルプ利用の方に医療連携の状況など伝えている往診にこられた医師にホームヘルプ責任者が状況を確認してサービスの確認をする場面も見られる		事業所のサービス内の連携はもとより 訪問看護ステーションとの連携もあり今後も活かして行きたい
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年に2回の防火訓練、大学生の実習の受け入れ、定期的な音楽ボランティアの訪問、地域の民生委員の方との交流などしている 市の社会福祉協議会のsつまりのお手伝いなど支援している		
41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	要望があれば 居宅介護支援事業所のケアマネジャー等が対応できる体制がある 医療連携で訪問看護師に来ていただいている それぞれのサービス事業所と調整を図っている		
42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターのケアマネジャーに参加していただき 相談している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>嘱託医への定期健康診断とそれぞれ入居者のかかりつけ医の通院や往診など 医療連携を大切にしている 医師の紹介のもと専門の病院に受診するお手伝いもしている</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>入居以前からの専門医との関係を大切に支援させていただく またご家族から相談があった場合は専門医の情報を提供している</p>	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>嘱託医の看護婦や 訪問看護師は入居者をよく理解している またなじみの医師にかかっているため必要に応じて相談している</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には 介護の状況を伝えている。お薬手帳を参考にして医療の情報を明確に伝えている 入院中もお見舞いに伺い状況の把握に努めている 退院前のカンファレンスに参加して情報交換ができるように努めている</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>病気の状況に応じて医療との連携をとり ホームでどのように生活したいか どのような支援を望まれているのか 家族の方と話し合い できることを共有化するように方針などミーティングにて確認している</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>医療面は主治医の指示に従い訪問看護師に相談して対応している ミーティングで話し合いを繰り返し介護計画書を作成している</p>	<p>家族の意見をまとめるキーパーソンとの連携を十分に取る</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の 居所へ移り住む際、家族及び本人に関わる ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住み替えによるダメージを防ぐこ とに努めている	移り住む先の施設の事前調査や見学 ケアプラン や医療情報などの提供を行い 生活に支障のない ように支援している 使いなれた食器や 写真な ど移転先ですぐに使用できるようにお手伝いして いる		移転先にご一緒して荷物の整理などお手伝いする こともある
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	入社時研修の中にマナーの基本、介護の原則など 独自の研修項目がある 個人情報の取り扱いにつ いては個人情報保護法に沿った研修を行い徹底を 図っている コンプライアンス研修も行っている		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働き かけたり、わかる力に合わせた説明を行 い、自分で決めたり納得しながら暮らせる ように支援をしている	利用者の意向を確かめ ご家族のお話を伺い 個々の利用者の理解に努め、その方の能力に合わ せて支援ができるように努めている		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	一日の暮らしはおおむね決まっているが、それぞ れの方の生活のペースで対応している 利用者全 員の個別対応の実施は難しい状況です		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている	外部から利美容の方に毎月4回ほど来ていただい ているが 昔からのヘアスタイルを伝えてお しゃれができるようにお手伝いしている ワン ピースやスカーフなど季節感のある服装ができる ようにしている 近くの美容院にご家族と行かれ る方もいる		パーマをあてたり、カラーリングされたりそれぞ れのご希望を確かめてその人らしさを大切に支援 している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お誕生日には ご本人のお好みの物を用意して一緒に食事をして楽しんでいる できる方にはお茶を入れていただいたり 配膳や下膳をスタッフと一緒にしていただいている</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>個別にお買い物に行かれたり ご家族からお預かりする場合がある またパン食を好まれる場合は3食ともパン食にしたり コーヒー、紅茶などできるだけ選んでいただくように支援している お酒などは行事の時に頂く機会を設けている</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>定時交換の排泄の援助ではなく お手伝いの必要な方にはおおむねの時間を把握してお手伝いしているそれぞれの方に合わせたオムツの使い方をして</p>	<p>できるだけ自然な排便が促せるように支援している</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>日中浴、夜間浴と時間帯を分けて 体調に合わせて対応している 菖蒲湯やゆず湯などの季節間をたのしんでいただけるよう支援している</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>できるだけ日中は活動的に過ごしていただくようにこころがけているが、昼食後に横になられる方や一日の状態を見てはやめに声をかけさせていただくことがある</p>	
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常の生活の中で洗濯物をたたんでいただいたり食卓を拭いていただくなどお手伝いをしていただいている またキーボードで演奏をしたり、絵を描いたり 塗り絵をするなどその方の興味のあることをしていただいている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理ができる方には所持していただき 近隣のお買い物などしていただいている また多少のお金を持っていることで落ち着いておられる方には ご家族と相談して持っていただいている		神社に行ってお賽銭を投げ入れたり おみくじを引かれたり お守りを購入される
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望に沿ってできるだけ散歩に出かけていただくようにしている 天候やスタッフの状況によりいけないこともあります		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	できるだけ希望に添えるように外出の計画を立てている 2～3人で気軽に出かけられるように計画している		ご家族の方にも協力していただき 個別の外出の計画を立てている
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも取り次ぎ可能である 希望される方にはお部屋に電話を取り付けていただいている 1階に公衆電話も設置されているのでスタッフとともに使用していることもある 切手は事務所に販売している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の制限はしていない 面会場所も居室および共有のスペースを自由に使用していただいている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行政の資料を参考にしてミーティングでは身体拘束についての理解を深めている 介護研修等でも身体拘束はしないとの理解を深めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		朝起きたときの冷たい水 野菜ジュースなど薬に頼らない働きかけをしている
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のファイルをスタッフルームにおいていつでも確認できるようにしているまたミーティングや勉強会で学習する機会を持っている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は除菌 食品の管理は栄養士の指示に従っている 調理食材は検食提出をしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関入り口はオープンにしているため ご家族の来訪時、入居者が降りてきた時は気楽に声をかけお手伝いしている リラックスできる音楽を流して親しみやすい雰囲気を作る工夫をしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や色紙を飾って生活感 季節感を大切にしている 共用スペース、お部屋の掃除は毎日している 照明や室内の温度調節はそのつど行っている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ダイニングやリビングには 椅子がおいてあり、いつでも好きなところで過ごしていただけるようにしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染みの家具をお部屋に配置していただきお部屋に畳を敷くなどして ご家族の方が来られた時はお部屋でくつろいでいただいている		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	自然の風が通るようにしているが、換気扇や空気清浄機を設置してよどみのないようにしている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア内はバリアフリーで手すりを設置、必要などころには昼間も照明を点灯している		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各お部屋には 入り口に表札を掲げてご自分のお部屋がわかるようにしている お手洗いは赤い扉であると意識できるようにはたらきかけている ご入居者のできること、できないことをミーティングなどを通して深めて行き		
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関入り口にの花壇には花を植えたり 季節の野菜を植えたりして楽しんでいただいている		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご入居者のプライバシーの保護に努めながら 個々の方が行きたいところに出かけたりご家族の方と共に楽しむ時間が持てるように個別対応を心がけている